



～この倉敷(まち)を鮮やかな色彩に～

【基本理念】
彩りあふれる個と公が
協和する倉敷の実現



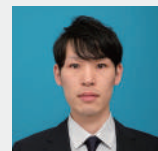
第六十六代理事長 宗田 弘 出陣

「はじめに」
私たちの生活は色に囲まれている。
色は人の心に影響を与え、
と云われ時代の風潮や
傾向も色で表現されてき
ました。色を付けること
と云います。ひとを色で
表現すると、交じり合う
ことで新たな色彩
として豊かな表情を生
み、多様性をもたらす
新たな価値を創造する
と考えます。
2001年の「C宣言文
には「混沌という未知の
可能性を切り拓き」とい
う一節があります。通常
であれば混沌と混沌は同
じ意味合いで捉えてしま
い、暗い印象を与えてし
まいがちです。しかし、
この宣言文では混沌を未
知の可能性と表現し、ど
のように切り拓いてゆく
かが問題の本質であると
捉えています。新型コロナ
ウイルス感染症の影響
を混沌と捉えるならば、
間違いない負の作用とし
か考えることはできませ
ん。私たちがこの状況を
混沌と捉えることができ
るならばそこに光を見出
し、新たな価値に気づく
ことができます。どのよ
うな状況であっても青年
会議所運動の光は消える
ことはありません。
青年会議所の運動とは
組織体としての行動であ
り、社会を巻き込み先頭
に立つリーダーシップ
を発揮し、問題解決のた
めに行動を起こすことで
あり、時には地域や国家

のため、利他の精神が必
要となります。平成30
年7月豪雨災害の復興支
援の中で、他団体と協力
し立ち向かう会員同志や先
輩諸氏の姿は、青年会議
所の運動を体現したもの
であったと感じます。こ
の地域を担う青年経済人
であるという信念や誇り
が原動力となったことは
間違いありません。創立
から66年を迎える私た
ちは、困難を乗り越えて
こられた先輩諸氏の姿を
忘れず、この倉敷になく
てはならない団体として
存在し続ける必要があります。
持続可能な地域を
目指したまちづくり
青年会議所が目指す「明
るい豊かな社会の実現」
は、SDGsの理念「誰
一人取り残さない社会
と親和性が高いと考え
ます。新型コロナウイルス
感染症による世界の
混乱は、各地域の貧
困・医療・教育の数十
年の前進を後戻りさせ
るとの予測も出ていま
す。企業や教育現場で
は、新しい活用が急務と
なり、新たな体制が求
められる状況だからこ
そ、「持続可能で多様性
と包摂性のある社会の
実現」が必要となりま
す。倉敷市は2020
年に内閣府から「SD
Gs未来都市」及び「自
治体SDGsモデル事
業」に選定されました。
まちづくり団体として
SDGsを一層推進す
るとともに、事業構築

においては、「持続可能
なまちづくりとその担
い手としてのひとづく
り」を目標とし、明る
い豊かな社会の実現を
目指します。
「結び」
私たちは当たり前と考
えていた日常が、覆さる
時代に生きています。新
しい日常は、私たちに変
革の能動者としての覚悟
を問いかけています。
感じます。私はここには
ひとを変える力があると
信じています。互いの価
値観の違いを超え新たな
価値を生み出すことで
志を同じうする者にな
ると確信しています。
混沌という未知の可能性
を同志とともに切り拓
き、青年としての英知と
勇気と情熱をもつて明る
い豊かな社会を築き上げ
ましょう。
「彩りあふれる人財と
ともにこの倉敷(まち)
を鮮やかな色彩に」

2021年度前期入会新会員紹介



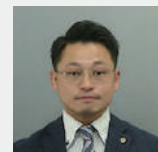
大野 彰倫
1992・12・25



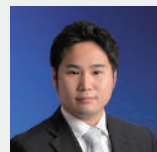
上野 達朗
1995・5・17



上田 涼一
1984・5・21



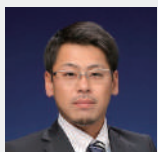
上牧 武史
1985・9・18



小川 達也
1987・9・13



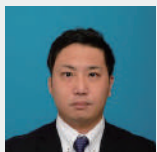
岡部 拓也
1994・3・9



徳山 隆明
1990・1・30



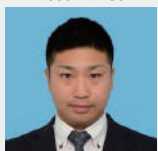
親 佑次郎
1988・4・18



菅野 翔
1990・12・8



楠木 政晃
1987・9・17



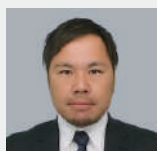
宗森 雅之
1992・4・30



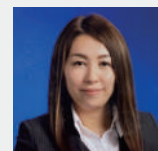
三宅 翼
1990・7・23



光本 明弘
1992・4・8



藤九 将規
1984・6・2



藤井 智美
1984・11・28



西本 貴紘
1991・2・25



中嶋 優斗
1989・12・30

17名の新会員が
前期入会致しました。
活躍を期待しています！

宗田体制 組織図

理事長



宗田 行弘 1981・11・2

専務理事

土倉 佳奈
1984・3・23

【組織情報室】
LOMの価値を高め
進化し続ける組織運営

副理事長

下原 将貴
1982・7・6

【人財交流室】
パートナーシップを通じて
率先して行動する次世代のひとづくり

副理事長

神原 浩太郎
1985・12・24

【未来創造室】
持続可能な発展を目指す
地域と青少年の育成

副理事長

守屋 亮佑
1985・7・17

【人財研修室】
地域社会に寄与できる
彩りあふれる人財の育成

常任理事室長

熊本 雄介
1986・11・30

常任理事室長

諏訪 岳史
1981・2・27

理事委員長

城市 哲彰
1983・4・10

【総務委員会】
青年会議所活動を広く認知して
頂くとともに賛同へと繋げる
質の高い広報活動

理事委員長

佐々木 有介
1985・10・30

【彩あふれる人財交流委員会】
周囲に感謝し、人間力の向上に
努め、変化する社会に対応でき
る多様な人財を育てる

理事委員長

近藤 健史
1985・6・19

【彩あふれる未来創造委員会】
子どもたちが相互にコミュニ
ケーションを図り、住み続け
られるまちづくりの実施

理事委員長

三宅 裕太
1986・1・16

【研修委員会】
全会員がポジティブに変化し
まちとひとに彩りを与える
ことのできる人財を育てる事業

委員長コラム

「自分が考える委員長」

研修委員会 理事委員長

三宅 裕太

自分が考える委員長とは、委員会が向かうべき方向性を描き委員会メンバーに浸透させスタッフやメンバーの能力を引き出し生かしながら行動しなければならぬのが委員長だと考えます。

また、事業等委員会に課せられた事を成功させるためにメンバーの意識、能力の向上をさせるだけではなく委員会として組織として今にながが必要なのかを考え組織能力を向上させるのも委員長の役割だと考えています。メンバーの模範となり、まわりの人々にいい影響を与えメンバー自ら行動できる人財の育成も委員長の役割だと考えます。本年も委員長をさせて頂いておりますが本年にあまり出来ていなかった部分を来年の課題としていきたいと思っています。そして、今年学んだ部分を来年に活かしていきます。

今まで様々な方が研修委員会の委員長をされてきましたがそれぞれいい部分を生かし、自分の色を上手く出しているような委員長になりたいと考えています。

次回コラムは彩あふれる未来創造委員会近藤委員長です。

開催予定

※ コロナウイルスの影響により変更になる場合がございます

講師公開例会開催

2021年 2月12日(金)

講師：狩野 光伸(かの みつお)氏をお招きしSDGs活動について講演していただきます。SDGsは「うんちのなか」誰でも出来る、今日からでも出来る良い社会を作るための活動であるという事を地域の方に知っていただき、今後の自己成長や地域の活性化に繋がる講演を行います。また、コロナの影響で外出を控えられている方の為にWEB配信を行います。

岡山ブロック協議会 2021年度会長公式訪問

3JCC合同例会開催

2021年 3月15日(月)

倉敷・児島・玉島の3JCCが集い、お互いの意識を高め相互発展し、倉敷の活性化に繋がります。ブロックでの活動内容や事業に対して理解を深めることで、岡山ブロック協議会及び3JCCの絆を深める事が期待されます。感染対策の為、参加出来ないメンバーに対してはWEBでの参加をしていただくように致します。

Facebook



Instagram



HP



Junior Chamber International

公益社団法人 倉敷青年会議所
新入会員募集中!! 20歳~36歳

全ての人が幸せを感じる持続可能な郷土と世界の発展を目指す

「まちづくり運動」

自由な選択と学びのもと能動的に行動できる人を育てる

「ひとつづくり運動」

夢や希望にあふれたくましく生き抜く子どもへ導く

「青少年育成運動」

これらの運動を共に行える青年経済人を募集しております。

活動内容は左記QRにてご覧ください。

